

2021年 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社あおぞら	代表者	西田 裕	法人・事業所の特徴	「本人が望まれる限り、在宅での生活を続けていけるように支援をする」「介護者の負担を軽減することで、心穏やかな生活をご家族と共に過ごしていただきたい」「この人の生き方に寄り添って、一緒に楽しい人生を過ごしてもらう」を理念に、利用者一人一人の人権を尊重し、その人がその人らしく家庭的な環境の下で、地域の方とも交流を図り、本人の意向、趣味、娯楽を受け入れたサービスを提供致します。
事業所名	小規模多機能あおぞら	管理者	西田 裕		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	4人	1人	0人	1人	0人	3人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員の確保とサービス向上に努め、宿泊サービスの対応を幅広くできるように体制を整備する。	人員確保の仕組みとして派遣会社からの紹介で派遣社員と契約し、契約期間で適性を確認し直接雇用に変更するという方法に変更した。	新しい取り組みはいいと思うのですががんばってほしい。	人員確保とサービスの向上に努め、利用者登録数の20人以上を維持することを目指す。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染症対策を徹底し、安心して事業所に来てもらえるよう環境を整える。	感染症対策に換気、手洗い、アルコール消毒、食事時の仕切りパネルの配置等を行った。	感染症対策には十分に気を付けてもらっていると思うが、今後も注意してほしい。	感染症対策に留意し、衛生的な環境を整え、相談しやすい場所として知ってもらうよう務める。
C. 事業所と地域のかかわり	新型コロナウイルスでの環境変容に対応した催しを企画し、地域交流に貢献できるよう務める。	今年度は地域との関わりとして、個別の相談には対応してきたが、事業所のイベントや地域の催しが開催できず交流が限定的となった。	感染症対策に気を付けて、地域の交流の仕方を考えてもらいたい。	地域のイベントや防災訓練に参加できるよう取り組む。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	感染症対策に十分配慮した上で、地域イベント等に参加して交流を深める。	新型コロナウイルスの影響でイベントが無くなったため、参加できなくなりました。	新型コロナウイルスに気を付けてもらいたい。	近隣の方への挨拶や配慮をしっかりと行う。多職種連携に努め、情報交換を密に行う。
E. 運営推進会議を活かした取組み	介護の悩みや困りごとなどの相談を受け付け、地域での介護課題の情報収集に努める。	昨年に続き包括支援センターから相談されたケースがサービスにつながった。	これからも相談にのってほしい。	地域の方の介護の困りごとを会議でも取り扱うので、十分な情報収集を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	防災訓練の内容を推進会議でも報告するように努め、災害対策についての周知を行う。	防災（消防）訓練は3か月に1度実施しておりますが、地域の方にも参加してもらえるような取り組みができず、周知を行っていません。	今年は難しいと思っていた。	防災計画に沿って対応できるよう訓練に努める。町内の防災計画にも参加する。